

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-511876(P2005-511876A)

【公表日】平成17年4月28日(2005.4.28)

【年通号数】公開・登録公報2005-017

【出願番号】特願2003-552839(P2003-552839)

【国際特許分類】

C 08 J 7/00 (2006.01)

C 08 L 101/00 (2006.01)

【F I】

C 08 J 7/00 302

C 08 J 7/00 C E R

C 08 J 7/00 C E Z

C 08 L 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成17年10月11日(2005.10.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ポリマー基材の表面を改質するための方法であつて：

a) 1つの表面を有するポリマー基材を提供する工程；

b) 溶媒と、少なくとも1種の無機光化学電子供与体と、カチオン助剤とを含む光反応性溶液を、前記基材の表面と接触させて界面を形成させる工程、ここで前記少なくとも1種の無機光化学電子供与体は、チオシアニ酸塩、硫化物塩、チオ炭酸塩、チオシウム酸塩、チオリン酸塩、チオ硫酸塩、亜ジチオニン酸塩、亜硫酸塩、セレノシアニ酸塩、セレン化物塩、アジ化物、アンモニア、ヒドラジン、ヨウ化物、および三ヨウ化物からなる群より選択される；

c) 前記界面を化学線に暴露させる工程；

を含む、ポリマー基材の表面を改質するための方法。

【請求項2】

改質された表面を有するポリマー基材であつて：

a) 1つの表面を有するポリマー基材を提供する工程；

b) 溶媒と、少なくとも1種の無機光化学電子供与体と、カチオン助剤とを含む光反応性溶液を、前記ポリマー基材の表面と接触させて界面を形成させる工程、ここで前記少なくとも1種の無機光化学電子供与体は、チオシアニ酸塩、硫化物塩、チオ炭酸塩、チオシウム酸塩、チオリン酸塩、チオ硫酸塩、亜ジチオニン酸塩、亜硫酸塩、セレノシアニ酸塩、セレン化物塩、アジ化物、アンモニア、ヒドラジン、ヨウ化物、および三ヨウ化物からなる群より選択される；および

c) 前記界面を化学線に暴露させる工程；

を含む方法によって調製される、改質された表面を有するポリマー基材。

【請求項3】

複合材料物品を調製するための方法であつて：

a) 1つの表面を有するポリマー基材を提供する工程；

- b ) 1つの表面を有する第2の基材を提供する工程；
  - c ) 溶媒と、少なくとも1種の無機光化学電子供与体と、カチオン助剤とを含む光反応性溶液を、薄膜として、前記ポリマー基材の表面の上にコーティングして、第1の界面を形成させる工程；
  - d ) 前記第2の基材の表面を前記コーティングした光反応性溶液と接触させて第2の界面を形成させる工程；および
  - e ) 両方の界面を同時に、複合材料物品を形成させるのに充分な化学線に暴露させる工程；
- を含む、複合材料物品を調製するための方法。

【請求項4】

- 複合材料物品であつて：
- a ) 1つの表面を有するポリマー基材を提供する工程；
  - b ) 1つの表面を有する第2の基材を提供する工程；
  - c ) 溶媒と、少なくとも1種の無機光化学電子供与体と、カチオン助剤とを含む光反応性溶液を、薄膜として、前記ポリマー基材の表面の上にコーティングして、第1の界面を形成させる工程；
  - d ) 前記第2の基材の表面を前記コーティングした光反応性溶液と接触させて第2の界面を形成させる工程；および
  - e ) 両方の界面を同時に、複合材料物品を形成させるのに充分な化学線に暴露させる工程；
- を含む方法により調製された、複合材料物品。